

「老人ホーム入居権」を譲ってほしい
という詐欺電話に注意！

国民生活センターより、劇場型勧誘についての
注意喚起がありました。



「老人介護施設の入居権を
譲ってほしい」と言われ了承
したところ、本人からの申し
込みだと証明するために1000
万円振り込んでほしいと迫ら
れた。

「老人ホーム入居権」を他者に
譲るためには200万円を振り込
むように言われ、支払わないと
裁判になると脅された。



消費者へのアドバイス

「あなたは入居権を持っている」「権利を譲って」「名義を貸して」などと持ち掛
けてくるのは詐欺です！不安であれば留守番電話機能や発信者番号表示機能
を活用し、心当たりのない電話には出ないようにしましょう。

やりとりしてしまっても、絶対にお金は払わないでください。すぐに警察、家族・友
人、消費生活センター等に相談しましょう。

周囲の方へ

高齢者の消費者トラブルを防ぐには周囲の方の見守りが必要です。高齢者に異
変がないか見守り、異変に気づいたら警察や消費生活センターに相談してくだ
さい。

消費生活相談 TEL：0587-53-0505

月曜日～金曜日（土日祝日除く）9時～12時、13時～16時30分



先日、数人の知人と雑談をしました。話題は尽きることなく楽しいひと時でした。今のご時世ならではの子供の貧困、フードバンク、断捨離なども話題となりました。

また、最近よく見聞きするSDGsの話題も出ましたが、SDGsとはどういうものかということについて、「リサイクルの取り組み」や「自然を守ること」や「目標項目は10個ぐらいあるんじゃない？」等々、受け止め方にばらつきがありました。

SDGsは2015年に国連サミットで採択され、人々が幸せに暮らし続ける世界を作りたいことを願って、2030年までに達成する目標として17の項目が掲げられています。

しかし、新聞、テレビなどで、日本では1日に1人当たり茶碗1杯ずつ食料を捨てており、年間では1人当たり48kgの食料を廃棄している計算になると言っていました。食料不足の国からすれば勿体ないことです。

また、捨てられたプラスチックはそれを食べたクジラやウミガメなどの海洋生物の命を危うくしているというニュースもよく見ます。本当に2030年までに目標達成できるのだろうか…と感じています。

私はエコバッグを使用したり、プラごみのリサイクルをしっかり行うなど、生活の中での努力をしています。

たとえ今は少しの改善しか見られなくても、世界で起きている問題を忘れることなく一人ひとりが取り組むことが、自分たちの未来にとって大切と思いました。

※消費生活協力員は、消費者トラブルを未然に防ぐための活動や、消費生活に関する地域の見守り活動を行っています。